

特殊なニーズのある青年の 大学移行支援ワークショップ

障害や慢性疾患のある高校生が大学・短大・専門学校で勉強するための準備について、アメリカで行われているプログラムを基にした日本版開発に参加しませんか？ 就労にも生かせる内容なので大学生の参加も歓迎します。

日程：2010年1月5日(火曜日)13:00～1月7日(木曜日)14:15

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター(渋谷区代々木神園町3-1)
(原則、宿泊ですが、相談に応じます)

対象者：中学生、高校生、高卒者、専門学校生、短大生、大学生 12名程度
(障害、疾患の種別は問いません)

障害学生支援に関心のある人 5名程度

講師：渡部 Taylor 美香(モンタナ大学障害学生支援コーディネーター)、
青柳まゆみ(筑波大学)、長瀬修(東京大学)、田中恵美子(東京家政大学)、
伊藤聡知(富山大学)、河村宏(国立障害者リハビリテーションセンター)他

参加費：約1万円(宿泊費、食費、保険料含む：往復交通費、夜間の介助者費用は別)

参考：<http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/resource/ld/dss.html>



参加申し込み方法

- (1) ウラ面の申込用紙を送付(ファックスまたはメール)してください。
- (2) 詳細の開催案内・事前調査用紙をお送りします。

定員(12名)を超えた場合は、申し込み順、性別、障害種別等を考慮してお返事させていただきます。ご希望によりMLでの情報提供、交流のみでも参加できます。

主催：厚生労働科学研究「青年期発達障害者の円滑な地域移行支援のあり方に関する研究」班

大学移行支援ワークショップ 参加申込書

開催要項と研究協力依頼書の電子ファイルは9月10日ころから

<http://www.rehab.go.jp/ri/fukushi/ykitamura/kitamurayayoi.html> からダウンロードできます。

記入日	平成	年	月	日
1. 参加者氏名 (ふりがな) 保護者氏名 (ふりがな) 参加者生年月日/性別	() () 昭和・平成 年 月 日生 (男、女)			
2. 住所・電話番号	〒 — 自宅電話：() — 本人携帯 (あれば)：			
3. 現在の所属 (あるいは直近の所属)				
4. 電子メールアドレス (本人または保護者)	携帯電話			
	パソコン			
5. 診断名・障害名	(診断名を知った年齢 歳)			
6. ワークショップで必要な配慮をご記入ください。テープ起こし記録は後日配布します。				
7. 家族構成 (同居の家族に○)	父親、母親、兄、姉、弟、妹、祖父、祖母、その他			
9. 特殊な介助が必要ですか？ (費用は参加者負担です)	はい、いいえ (たとえば、夜間の体位交換、入浴介助、特殊なコミュニケーション介助などです。原則として、昼間の情報保障・介助は主催者が準備します)			
10. 開催要項、研究依頼書	持っている、持っていない			

ワークショップ参加者への介助サポーターも同時募集！

参加者への介助(日中排泄介助、入浴介助、夜間体位交換など)をする

スタッフ(有償:当事者からのお支払い)を募集します。

申込・問合せ先: 〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 障害福祉研究部 北村弥生

電話:04-2995-3100 内線 2530 FAX:04-2995-3132

メール:Kitamura-yayoi@rehab.go.jp

関連情報: <http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/resource/social/usstudents.html>
http://www.rehab.go.jp/rehanews/japanese/No305/3_story.html